



2024年11月14日

各 位

会 社 名 スターゼン株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 横田 和彦  
 コード番号 8043 (東証プライム)  
 問合せ先 取締役 高濱 良一  
 (TEL 03-3471-5521)

**配当方針の明確化(DOE(連結純資産配当率)目標の設定)ならびに  
 配当予想の修正(増配)に関するお知らせ**

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一環として、本日開催の取締役会において配当方針の明確化ならびに配当予想の修正について決議しましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

**1. 配当方針の明確化**

当社は、前中期経営計画期間(2020年4月～2023年3月)において収益構造を見直し、食肉の生産・調達から加工・製造、販売に至るまでを繋ぐトータルサプライチェーンを強化した結果、着実に稼ぐ力がついてきております。

また、2023年4月からの現中期経営計画では、「収益構造の再構築とサステナブルな事業運営」をテーマに、当社としては過去にない規模の投資(3年間で400億円)を計画し、新たな成長戦略の礎を築くべく鋭意取り組んでいるところです。

こうした状況を踏まえて今後の成長投資と株主還元のバランスを検討し、株主のみなさまに安定した還元をすることをより明確にお伝えするために、配当額を検討する際の指標として、安定的かつ累進性のあるDOE(連結純資産配当率)を導入し、配当予想を修正(増配)することといたしました。

**2. 新たな配当方針**

**【変更前】** 安定した配当を継続

**【変更後】** DOE3.0%を目指し、安定的かつ継続的に配当を拡充

**3. 配当予想の修正(増配)**

2025年3月期の配当予想について、以下の通り修正いたします。

(基準日)	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想	-	90円	90円
今回修正予想	-	110円	110円
当期実績	-	-	-
前期(2024年3月期)実績	-	80円	80円

**【ご参考】過去の配当推移**

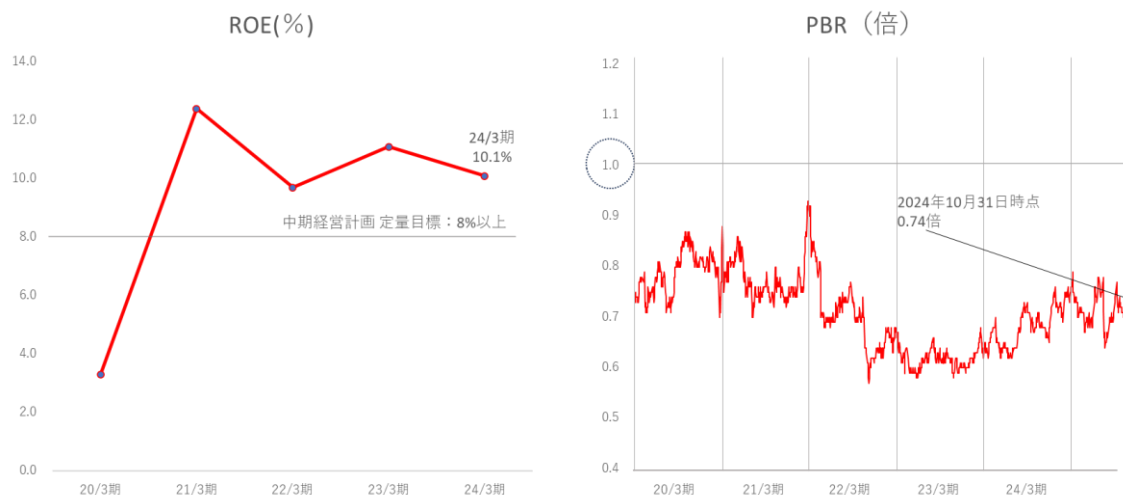
	20/3期※	21/3期※	22/3期	23/3期	24/3期
1株当たり年間配当金	55円	65円	65円	75円	80円

※当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2020年3月期と2021年3月期に関しては遡及して「1株当たり年間配当金」を算定しております。

以 上

## 1. 当社の資本・財務戦略

当社は、資本効率のさらなる向上を目指し、様々な施策に取り組んでおり、2024年3月期のROEは10%を超えています。一方、現在のPBRは1倍を下回っていることから、資本収益性を一層向上させるための成長投資を実現させるとともに、株主のみなさまへの還元を充実させることが、経営の最重要課題の一つであると認識しています。



### (1) 成長投資の実現

当社は、2023年4月からの中期経営計画において、過去にない規模の投資計画(3年間で400億円)を掲げ、新たな成長戦略の礎を築くべく鋭意取り組んでいます。

継続的な資本収益性の向上には、和牛をはじめとした食肉需要が旺盛な海外市場への積極展開や、それを支える国内輸出拠点の生産力向上、物流の効率化に資する拠点再編等に注力していくことが急務であり、以下の成長投資を具体化させるとともに、効率性に劣る資産は積極的に売却しています。

#### 【海外市場への積極展開】

- ① 海外でのM&A等による食肉調達力の強化
- ② 東南アジアや中国等における販売ネットワークの拡充

#### 【国内輸出拠点の生産力向上】

- ① 阿久根工場（鹿児島）における輸出商品の高付加価値化
- ② 三戸工場（青森）の輸出機能の抜本的増強の検討

#### 【物流の効率化】

- ① 東扇島物流センター（神奈川）の新設（2026年4月竣工予定）
- ② 伊丹営業センター（兵庫）の新築移転（2025年11月竣工予定）
- ③ 既存物流センター（東京）の売却（2025年3月売却予定）

#### ＜中期経営計画における投資計画＞

主な投資内容	投資額
海外市場への積極展開	120億円
国内拠点の効率化	110億円
高付加価値商品の取り組み	60億円
D X・業務プロセス改革	50億円
既存設備の維持更新	60億円
合計	400億円

#### ＜中期経営計画中の資産売却＞

主な売却内容	売却益
既存物流センターの売却	75億円

## (2) 株主還元の実現

当社の将来は、現中期経営計画で掲げた海外戦略の具体化とそれを支える国内拠点の整備等に関する成長投資をいかに実現させるかにかかっています。

これら投資計画を確実に実行しながら、株主のみなさまにどのような還元を実施出来るかについて慎重に検討した結果、配当方針を以下の通り明確化するとともに、本年度の配当予想を修正することといたしました。

### ① 新たな配当方針

「DOE3.0%を目指す」との定量的な目標を掲げ、安定的かつ継続的に配当を拡充してまいります。

従来、当社は「安定した配当を継続」することを基本方針とし、可能な限り継続的に配当を維持向上させてきました。

今後も、この基本方針は踏襲しつつ、「**DOE3.0%を目指す**」という目標を掲げ、安定的かつ継続的に配当を拡充してまいります。

### ② DOEを用いる理由

当社は、種々の工夫により食肉の相場変動を相応に吸収してきておりますが、それでもなお、業績が食肉相場から影響を受ける傾向は完全には排除できません。こうした業界特性がある中、実質的に累進的な指標となる DOE を用いることにより、安定的かつ継続的に配当を拡充してまいります。

### ③ DOE3.0%を目標とする理由

現中期経営計画においては過去にない投資を計画しておりますが、これらの投資が成長ドライバーとして育つまでには、相応の時間がかかります。投資が先行する中で、株主のみなさまへの還元を可能な限り充実させる目標として、DOE3.0%を設定します。

### ④ 今後の方向性

今後も自己株式の購入や株主優待制度の充実等を含めた株主のみなさまへの還元策の一層の拡充について検討するとともに、情報開示の徹底についても努めてまいります。

## <配当推移>

	20/3 期※1	21/3 期※1	22/3 期	23/3 期	24/3 期	25/3 期 (予想)
1株当たり 年間配当金	55円	65円	65円	75円	80円	110円
配当金総額	10.7億円	12.6億円	12.6億円	14.6億円	15.5億円	21.3億円
ROE	3.3%	12.4%	9.7%	11.1%	10.1%	13.3%
配当性向※2	61.5%	18.3%	21.1%	19.5%	20.7%	19.4%
DOE※2	2.1%	2.3%	2.1%	2.2%	2.1%	2.6%

※1 当社は2021年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2020年3月期と2021年3月期に関しては遡及して「1株当たり年間配当金」を算定しています。

※2 配当性向、DOEは連結ベースです。

以上